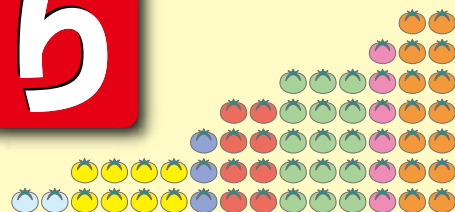


# えびの 市議会だより



田植後のえびのの田園風景

主な  
内容

## 6月定例会と5・6月臨時会の主な審議案件とその結果

### 平成25年度の一般会計予算は

総額 102億9,861万円に	……………	P 2～3
一般質問(登壇12人)	……………	P 4～9
常任委員会での審査	……………	P 10～11
<b>トピックス 議会報告会を開催します</b>	……………	P 13
表決が割れた議案等とその表決	……………	P 14

平成25年度の一般会計予算は1億3,525万円を増額後、6,638万円を減額し

# 総額102億9,861万円に

25年度 国民健康保険特別会計予算を4,608万円減額し …… 総額36億2,469万円に  
25年度 後期高齢者医療特別会計予算を298万円減額し …… 総額6億2,222万円に  
25年度 介護保険特別会計予算(保険事業勘定)を232万円減額し …… 総額27億7,993万円に  
25年度 水道事業会計予算(事業費用)を1,566万円増額し …… 総額5億450万円に  
25年度 病院事業会計予算(事業費用)を941万円減額し …… 総額10億1,413万円に

## 6月定例会

### 国保税

## 資産割を引き下げ、 均等割を千円増額

平成25年6月定例会は、6月7日から19日までの13日間開催し、報告2件、議案14件、請願・陳情3件、議員提出議案等2件を審議。審議結果は次項の審議結果表のとおりです。

### ●市国保税条例を一部改正

国保加入者の高齢化や医療技術の高度化などから総医療費が増え続けており、今回、課税割合のバランスを考慮し、県内他市と比較し、高い資産割を100分の5ポイント引き下げ、低い基礎課税の被保険者均等割と世帯別平等割を

それぞれ一千円引き上げるものです。

### ●一般会計を1億2942万円増額補正

歳出の主なものは、コミュニティバスの西部地区実証実験に関わる運行対策費の増額、国保特別会計への繰出金の増額、消防ポンプ自働車の更新、飯野中学校屋内運動場天井の修繕料等、市道大河平上村線の災害復旧工事などです。

また、市長の退職金はその42.6%を減額する特例条例が提案。可決したことから、583万2千円減額の785万9千円となります。

## 5月臨時会

## コミュニティバス関係予算を修正可決

同予算案は、本年10月から1年間、市東部及び西部地区でコミュニティバスを運行する業務委託料で、本年度分子算と26年度分の債務負担行為です。歳入は全額を基金から繰入れるものでした。

質疑で同予算は、東部地区は昨年度の実証実験を見直した本格運行であるが、この見直しについては議会内に様々な要求がある中、

これに対する説明が尽くされていないこと。また運行委託料を受ける「地域公共交通確保維持協議会」の運行収支で、期間内の運賃収入が明確に想定していないことが明らかに。このため、議員提案で同予算案から東部地区運行委託料分を減額した修正案を提出、可決しました。

## 6月臨時会

## 特別職及び 一般職給与を削減

今年7月～来年3月

国が地方公務員の給与減額を前提として地方交付税を減額する方針を決めたことを受け、一般職の市職員や市長など特別職の給与を減額する「市職員の給与の臨時特例に関する条例」の制定を賛成多数で可決し、これに伴う一般会計など7会計の補正予算の議案も賛成多数で可決しました。

給与減額の対象者は、一般職と特別職(市長、副市長及び教育長)の計297人。削減率は一般職が給与の等級に応じて2・26%、5・26%減。特別職が5%減となります。また、同減額措置に伴う全7会計に及ぶ削減総額は、4251万円となりました。

一般会計の補正は、この給与減額措置の他、給与制度改正や人事異動等による給与費の減額もあり、歳出総額で6054万が減額となり、補正後の同予算は総額102億9861万円となりました。



# 5月臨時会における議案等の審議結果

会期 5月10日（1日間）

## 1. 議案等

番号	件名	審議結果
報告第 2号	専決処分したえびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について	原案承認
議案第 51号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正（第2号）について	修正可決

# 6月定例会における議案等の審議結果

会期 6月7日～6月19日（13日間）

## 1. 議案等

報告第 3号	平成24年度えびの市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第 4号	平成24年度えびの市水道事業会計予算繰越計算書について	—
議案第 52号	固定資産評価員の選任について（税務課長 林 敏廣さん）	同意
議案第 53号	えびの市選挙公報の発行に関する条例の制定について	原案可決
議案第 54号	えびの市子ども・子育て会議条例の制定について	原案可決
議案第 55号	えびの市税条例の一部改正について	原案可決
議案第 56号	えびの市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第 57号	えびの市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 58号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正（第3号）について	原案可決（賛12：反2）
議案第 59号	平成25年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正（第1号）について	原案可決
議案第 60号	平成25年度えびの市介護保険特別会計予算の補正（第1号）について	原案可決
議案第 61号	平成25年度えびの市水道事業会計予算の補正（第2号）について	原案可決
議案第 62号	平成24年度えびの市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第 63号	平成24年度えびの市病院事業会計資本剰余金の処分について	原案可決
議案第 64号	えびの市長の退職手当の特例に関する条例の制定について	原案可決（賛10：反4）
議案第 65号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正（第4号）について	みなし可決

## 2. 請願・陳情

番号	件名	審議結果
請願第 9号	年金2.5%の削減中止を求める請願	採択（賛12：反2）
請願第 10号	少人数学級の推進のため定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元する意見書の提出を求める請願	採 択
陳情第 17号	県道京町小林線を早急に現道拡幅改良で着工することを求める陳情書	継続審査

## 3. 委員会提出議案等

番号	件名	審議結果
委員会提出意見書案第1号	年金2.5%の削減中止を求める意見書（案）	原案可決
委員会提出意見書案第2号	少人数学級の推進のため定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元する意見書の提出を求める意見書（案）	原案可決

# 6月臨時会における議案等の審議結果

会期 6月25日（1日間）

## 1. 議案等

番号	件名	審議結果
報告第 5号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—
議案第 66号	えびの市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	原案可決 （賛12：反2）
議案第 67号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正（第5号）について	
議案第 68号	平成25年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正（第2号）について	
議案第 69号	平成25年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正（第1号）について	
議案第 70号	平成25年度えびの市介護保険特別会計予算の補正（第2号）について	
議案第 71号	平成25年度えびの市水道事業会計予算の補正（第3号）について	
議案第 72号	平成25年度えびの市病院事業会計予算の補正（第1号）について	

# 一般質問

## 子育てしやすい環境づくり



松窪 ミツエ  
議員

現議員では任期中最後となる6月定例会では、12人の議員が同様に任期末を迎える市長に対し一般質問しました。

きる教育現場の体制づくりは。

**教育長** 年度当初に、全ての学校において研修を実施し、教職員全体が対応できる体制づくりに努めている。特に、症状の重い児童生徒のいる学校では、エビペンの扱いも研修している。県教育委員会に要望していた「栄養教諭」が初めてえびの市に配置された。現場に直接指導できる体制が整い期待している。代替食は調理師2名が専用コーナーで調理し、専用器を使い、誤食を防止している。

**質問** 行政施策の「子育てしやすい環境づくり」は、窓口対応や、事務手続きもその段階にある。現在の「保育所（園）入所案内」の様式は、それに適っているか。

**市長** 丁寧ではあるが、情報として伝わり易い方法もあるのでは。記入漏れ等がないように、詳しく記載されているように感じている。

**質問** 入所案内書は解り易く親切な言葉を用い、内容についての、新たな整備が必要ではないか。

**市長** 申し込みされる保護者の気持ちになり、配慮をしたい。

**福祉事務所長** 研究し改善する。質問 食物アレルギーに対応で



## 次期市政の重要課題は何か



池田 孝一  
議員

**質問** 村岡市長が掲げた54項目のマニフェストの達成状況は、行政評価が83・3%、市民検証での評価が57・4%と報道されている。未達成項目も含め、次期の市政の重要課題に何を掲げるか。

**市長** 市政課題は変化しており、次期もマニフェストは作る。課題として住民自治の強化、企業誘致を含む定住対策、6次産業化による農業の振興、観光振興、防災対策の5項目が大きな柱になる。

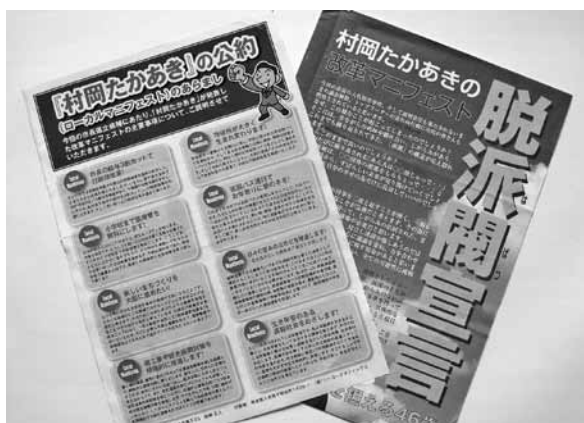
**質問** その5項目の内、産業振興関係は、企業誘致8社のマニフェストに対し実績は4社だ。農業の産業化・雇用創出もこの4年間の目標には程遠い。今後の人口減少・少子高齢化や経済情勢も厳しさが増す中で、どのように見通

しているのか。

**市長** 企業誘致は、景気が少し良くなっている物流や食品加工の業種に絞り込み、大都市との情報ネットワークを強化する。農業では、新規就農の拡大に懸ける。

**質問** マニフェストの評価を退職金に反映し、57%で提案すると言うが、何の意義があるか。

**市長** 約束したマニフェストを守ることに意義がある。



前回の市長マニフェスト

# えびの市の将来のビジョンは



本石 長永  
議員

**質問** えびの市は九州のへそに位置し、利便性が良いといわれているが、東九州自動車道では来年度に北部九州エリアが全線開通の予定である。また八代を起点とし、

水俣、出水、薩摩川内の各市を経て、鹿児島に至る南九州西回り自動車道も、阿久根ICと薩摩川内ICを除く区間が平成28年度供用開始される予定。着々と九州内の道路整備が進んでいる。この状況を踏まえ、市長としてのえびの市の将来のビジョンは。

**市長** 住民自治の強化、定住対策、企業誘致、新規就農、観光振興、特に住民自治の強化と定住対策は強化したい。



将来ビジョンを描いた総合計画

**質問** えびの駐屯地隊員の定住の促進につながる対策として、他県、他市に無い宅地の提供等は考えられないか。

**市長** 定住は重要な対策と考える。今後、十分検討していく。

**質問** 昨年の12月に米の食味コンクールに小学生の参加は出来な

いか提案した。教育長の考えは。  
**教育長** すばらしい提案をいただいた。各小学校から男女2名ずつ計10名のオープン参加のお願いをしている。

# 事前の協議が大切



上原 康雄  
議員

**質問** 京町温泉マラソン大会

は、今年から新設されたハーフマラソンに1100人が参加し一挙に2500人の大規模になった。京町温泉の活性化につながる大会であった。しかし大会運営に問題があった。トイレの不足や、スタート時間が30分遅れるなどで、現場はかなり混乱した。参加者の立場になつての総合的な事前協議が十分だったのではないか。

**観光商工課長** 事前の協議が不十分な面があった。今回の大会を教訓として来年の大会に備える。

**質問** えびの市家畜防疫研修会が4月30日にあった。畜産農家にあらためて口蹄疫への防疫の大切さを認識してもらおうと行われた講演会だ。しかしこの時期は畜産農家はイタリアンの収穫作業の一

番忙しい時期であり、そのために畜産農家の参加者が少なかった。畜産農家が一番参加しやすい時期に開催するべきだったと思うが、市長の見解は。

**市長** 結果的に畜産農家の参加がかなり少なく、開催時期の事前の協議が不十分だった。今後は十分な心くばり気くばりをしていく。



5月26日開催された京町温泉マラソン大会



# 市長は判断力を的確に



竹中 雪宏  
議員

**質問** 道の駅オープニングセレモニーの案内状について、事前に確認を行ったにもかかわらず、当日の朝、持ち回りをされた。市長は日頃、執行部と議会は車の両輪と言われながら、議会を軽視されているとしか言いようがないが、市長の考え方を伺う。

**市長** 配慮が足らずに、そういった印象を多くの議員に与えたことを心から反省している。

**質問** 反省の気持ちがあれば正式に謝罪し責任を明確に示せ。

**市長** 信頼を無くしたことを心からお詫びを申し上げ、今期定例会中に正式な謝罪の場を作っていただき、文書を提出し謝罪する。

**質問** 道の駅は改善が必要と思われる箇所があるが、どのように対処されるのか。例えば、レジの



施設改善を指摘している道の駅正面玄関

設置場所。平台及びコンセントの増設。看板の改良。バックヤード及び南側出入口の改善。風除室と二輪車駐車場の建設など。

**市長** 指定管理者と協議を行い前向きに対処をする。

**質問** 子牛品評会審査場の屋根設置に取組む考えはないか。

**市長** 具体的に要望書等が出てくれば、前向きに対処していく。

# 災害物資の調達強化を



外園 三千男  
議員

**質問** えびの市防災計画では、災害に備え、避難所等に飲料水、食料品、生活必需品等の物資備蓄をする計画になっているが、対応は。

**危機管理対策監** 備蓄の考えはない。協定を結んでいる商工会、南九州コカ・コーラ等から支援供給を受ける考えだ。

**質問** 商工会が何をどの位支援してくれるか把握しているのか。

**危機管理対策監** 今後協議していく。また、スーパーやコンビニなどにも協力要請をしていく。

**質問** 南原田の御仕立山住宅周辺の排水整備はいつからか。

**農林整備課長** 設計の通り実施できれば今年11月に地元説明会を行う。26年〜27年の予定で、北へ約500m、歩道等に排水管を埋

設した工事をする。

**質問** 平成24年度定期監査報告書を見ると財務規則を順守していない書類作成及び照合で台帳と合わない備品が指摘されているが。

**代表監査委員** 指摘箇所は財務規則が順守されていない。事務担当者等がうっかりしていると思う。

**監査事務局長** 今後、事務レベルで可能なものについては文書で改善報告をしてもらう考えである。



給食センターに設置している学校給食用備蓄倉庫

# 行財政改革



高牟禮 宏邦  
議員

**質問** 18年間財政に真剣に取り組んできた。松形市政は低金利起債への貸替え繰上償還。宮崎市政は各種補助金や事業の見直し・抑制を図り、健全化に取り組んだ。村岡市長の4年間は形跡が余り見えないが、財政健全化への取り組みは。

**市長** 人件費の削減、基金の積み増し、起債発行抑制、市税の徴収強化による自主財源の確保等である。

**質問** 公共事業等の入札に関する学識者による検討委員会の審査結果と、事業への活用は。

**市長** 年二回宮崎市で開催し審査した。審査事項に対して市長に意見が示され、市として回答し、これを市ホームページで公表している。業者への指導も適切に行つ



雑草対策が必要な吉都線沿線

てきた。

**質問** JR吉都線の雑草対策と記念事業について、えびの市の中央に位置している線路が原野化して周辺農地や住居が迷惑しているとともに、踏切の見通しが悪化しているが、一過性の事業よりも多額の子算をそれにあてるべきだ。またJRへの働きかけは。

**市長** 線路の雑草は深刻だ。JRに何回も交渉を行っている。JRも迷惑を認め、その解決のため努力していくと約束されている。

# 教育行政について



北園 一正  
議員

**質問** 上江小中学校は、本年4月から市内で初の小中一貫教育校（校長1名・教頭2名）としてスタートした。平成25年度の施政方針や議会全員協議会で、施設一体型の学校として3ヶ年を目標に、現在の小学校側に集約して整備すると説明をされている。今後の計画を伺う。

**教育長** 現在、上江小中学校運営協議会に説明をして意見を聴いている。今後、参観日等を通じて保護者との協議を行い、その後、本年度中に地域の皆さんに説明を行う予定である。

**質問** 地域の学校は住民の心のよりどころになる。学校運営協議会活動や地域コミュニティ活動の拠点施設、児童生徒に地域の歴史・文化が伝承できる資料室等が必要

と考えるが、計画はできないか。  
**教育長** 学校運営協議会でも、一貫教育を充実するために教育施設のほか、地域コミュニティ施設等の必要性の要望があった。計画の中で十分検討していく。



小中一貫校としてスタートした上江小中学校



# 重要文化財を活かせ



宮崎 和宏  
議員

**質問** 島内古墳を公園化し展示館等を整備する予算が決定しているが、どこまで進んでいるか。

**社会教育課長** 計画の場所が私有地であり交渉中である。

**質問** 現在残っている古墳がある場所は、昔から地区の人達の祭りがあった場所と聞いている。わざわざ別の場所に建てるより現在ある場所を活かした方が予算的にも最善だと思う。

**教育委員長** 重要文化財が出土した場所が最適であり、計画を進めている。

**質問** 古墳のある平松地区一帯は農地であり、道路が狭くて場所がわかりづらい。道路拡幅整備も一緒に進めるべきである。

**市長** 教育委員会と協議して調査していく。



墓群周辺整備が進む島内古墳

**質問** コミュニティバス運行計画について、本年度は西部地区の試行運行を実施予定だが、どうしても路線から外れる地区も出てくる。それを解消するため福祉タクシー制度と併用して運行すれば市内全域に利用できると思うが。

**市長** 現在のバス運行方式は空白地区がでてくる。タクシーを利用するデマンド方式も考えられる。

# 農道の管理について



井川原 志庫男  
議員

**質問** 岡元地区においてはすでに地籍調査は完了している。しかし消防詰所より南側の農道については、地元住民から現況と図面との食い違いがあるとの事で、再調査の依頼が法務局にあると聞く。法務局からは、修正図面を提出するということ事で受理され、修正がなされたとの事だ。法定外財産の管理者として地籍調査の立会を含めどのように管理がされているのか。

**建設課長** この地域においては調査の立会はしていなかった。

**市長** この地区は農道が狭くなっていて、一部農道以外に利用されている。えびの市としては十分な管理がされていなかった。また、地籍調査において、立会は基本的原則であるので指導をしていく。

**質問** この地域においてはすでに袋地が発生し、また農道が関係者により占有されたり、使用許可も受けず長年使用されている。法定外財産の中でも農道は農地を耕作する上で重要な施設である。また、法定外財産は民法上でも占有権や時効消滅は発生しないが、どのように対応されるのか。

**市長** 地元の関係者と協議を早急に進めていきたい。



農地水事業で適正管理している市内の農道



# 風しん予防接種に助成を



西原 政文  
議員

**質問** 風疹の予防接種を受けていない世代があり全国で多く発症している。妊娠初期に感染すると障害児が産まれる可能性があると言われ、予防接種にえびの市は助成をする必要があると提案した。

**市長** 予防接種助成をえびの市でも実施する方向で指示し、現在医師会などと調整している。

**質問** TPP参加は、政府の公約違反だ。全国農業委員会でTPPは、どう話され議論しているか。また、市長はどう考えるか。

**農業委員会会長** 安倍政権のTPP参加表明に落胆している。県農業委員会でも反対。新政権に対し次の会議で新たに決議する。

**市長** TPP反対は、気持ちは変わらずこれからも同じだ。

**質問** 畜産農家が激減してい

る。燃料や配合飼料などが高騰し経営が厳しく、国に地方の声を伝えるべきだ。また養蜂業者がレンゲ草の種子の助成をとの声がある。減反や裏作としても対策が必要だ。

**市長** 畜産農家支援は、昨年より予算を4千万円以上増額で下支えし、養蜂は蜜源対策として国庫事業を使い、レンゲ草畑を33ヘクタール増やす計画を進めている。



# 「にこまる」を奨励品種に



栗下 政雄  
議員

**質問** 「にこまる」を宮崎県の奨励品種として認定するよう、JAや生産者と協力して、ぜひ取り組んでほしいが、市長は、どのように考えるか。

**市長** この「にこまる」については、えびの市にとっても非常に有力な品種の一つだと考える。宮崎県の奨励品種として認定してもらうためには、当然えびの市だけではなく、他市との連携も大切になるうかと思う。宮崎県の認定に向けて取り組んでいきたい。

**質問** えびの市で、「にこまる」の採種ほ場ができるように、取り組んでほしい。県内では、えびの市だけがにこまるの生産に取り組んでおり、その種もみをえびの市でつくれば、生産者も意欲が出てくる。



にこまるが植えられた水田

**市長** 県の奨励品種として認定されなければ、採種ほ場は、できないということである。奨励品種としての認定に向けた取り組みを進める中で、そういった部分も検討していきたい。

# 議案等の 審査

## 総務教育常任委員会報告

6月定例会において総務教育常任委員会で審査した主なものを抜粋して報告します。

### ①えびの市選挙公報の発行に関する条例の制定について

Q…条例の内容は。

A…選挙管理委員会が、市議会議員選挙と市長選挙時に選挙公報を発行するもので、候補者の政策等が掲載されます。

### ②一般会計の補正(第3号)について

Q…自治振興費・コミュニティ助成事業補助金170万円の内容はどのようなものか。

A…真幸地区運営協議会の備品購入補助金で、ワイヤレスアンテナ・プロジェクター・ゲートボール用具等を購入するもの。



天井修繕を行う飯野中体育館

Q…コミュニティバス停留所の看板製作等委託料188万3千円の用途は。

A…西部線(加久藤・真幸)のバス停留所看板等を作製するもので、126箇所分。

Q…教育費・中学校費の修繕料116万3千円の用途は。

A…飯野中学校屋内運動場(体育館)の天井修繕料で、天井の落下防止工事を行い、体育授業等の安全を図るものです。

Q…学校施設の非構造部材である天井、照明灯、固定式運動用具等の安全点検はどのようになっているか。

A…非構造部材の安全点検は再調査を行い、県や国と対策を協議する予定である。



### ③平成25年度水道事業会計予算の補正(第2号)について

Q…防衛施設周辺民生安定施設整備事業費1993万5千円の内容は。



上水道大河平配水系整備が実施されるくるそん大橋

A…陸上自衛隊えびの駐屯地を含む上水道大河平配水系を、防衛省の補助事業を活用して整備するもので今年度は実施設計を行うものです。

総務教育常任委員長

北園 一正



# 議案等の 審査

## 産業厚生常任委員会報告

6月定例会において産業厚生常任委員会で審査した主なものを抜粋して報告します。

### ①えびの市子ども・子育て 会議条例の制定について

子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し、必要な事項や施策の実施状況について調査審議するため、子ども・子育て支援法の規定に基づき子ども・子育て会議を設置する必要があることから、同条例を制定するものです。

### ②えびの市国民健康保険税 条例の一部改正について

今回の改正は、基礎課税額を県内他市と比較し、特に資産割額が高いことから、資産割額を100分の5ポイント引き下げます。

併せて他市と比較し低い被保険者均等割額と世帯別平等割額について、それぞれ1千円引き上げるものです。これは、相互扶助の精神に基づき被保険者本人に広く負担を求め

るものです。

### ③平成25年度一般会計補正 予算関係

(1)魅力ある農産加工開発事業補助金について

Q…原材料となる麦、大豆等の調達計画はどのようになっているか。

A…市内で生産されたものを使用し、加工・販売する。当該作物の作付けを条件とすることもJ Aと協議し、地産地消に向け取り組む。

(2)有害鳥獣駆除対策に係る補助金について。

国が鳥獣被害防止緊急捕獲等対策として、新規事業を実施されたことに伴い、補正が生じたものです。

Q…事業の単価、頭数の内容は。

A…イノシシが8千円の166頭分、シカが8千円の985頭分です。

Q…25年度本市の捕獲計画は。

A…イノシシが8千円の181頭、シカが1万円の1千頭、その他カラス、サル、アナグマの合計

で78頭の計画となる。

Q…市内でカラスが大量に増え、被害も多くなっている。思い切った対策は。

A…人家の近くで害を与えることから、鉄砲での対応が難しいため、箱ワナ等の対策を協議をしていく。

### ④平成25年度特別会計予算関係

6月定例会で審査した特別会計の補正予算は、24年分の所得確定や交付金確定に伴う補正であります。

(1)国民健康保険は、歳入歳出それぞれ3869万9千円を減額し、補正後は、36億3208万1千円となります。

(2)介護保険は、歳入歳出それぞれ449万4千円を追加し、補正後は、27億8675万7千円となります。

### ⑤年金2.5%の削減中止を 求める請願について

削減の実施は、高齢者の生活を圧迫し、悲惨な結果を招くことが危惧

され、若者を中心に年金離れが進み、年金制度への信頼も懸念されることから、賛成多数により採択すべきものとされました。

### ⑥県道京町小林線を早急に現 道拡幅改良で着工すること を求める陳情書について



陳情書が出されている県道京町小林線

今期定例会で当該県道の取り組みが示されたことを受け、流動的な部分を含んでおり、今後の状況を見守りたいとのことから、継続審査となりました。

産業厚生常任委員長

竹中 雪宏

# 6月定例会で可決した意見書

## 少人数学級の推進のため定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

35人以下学級について、小学校1年生、2年生と続いてきた35人以下学級の拡充が予算措置されていません。

日本はOECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっています。文部科学省が実施した「今後の学級編成及び教職員定数に関する国民からの意見募集」では、約6割が「小中高校の望ましい学級規模」として、26人～30人を挙げています。このように、保護者も30人以下学級を望んでいることは明らかです。

新しい学習指導要領が本格的に始まり、授業時数や指導内容が増加しています。日本語指導などを必要とする子どもたちや障害のある子どもたちへの対応等も課題となっています。いじめ、不登校等生徒指導の課題も深刻化しています。こうしたことの解決にむけて、一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が必要となっており、計画的な定数改善を図らなければなりません。

子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。しかし、教育予算についてGDPに占める教育費の割合は、OECD加盟諸国（データのある31カ国）の中で日本は最下位となっています。また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫するとともに、非正規雇用者の増大などにみられるように教育条件格差も生じています。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。

こうした観点から、下記事項が実現されるよう、地方自治法第99条の規定に基づき意見書の提出をいたします。

### 記

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成25年 6月19日

宮崎県えびの市議会



## 年金2.5%削減中止を求める意見書

貴職におかれましては、住民の福祉の増進に日夜ご奮闘されていることに敬意を表します。国会は、昨年民主党政権下、2.5%年金削減を含む、国民生活に直結する重要法案を成立させました。

その中でも、とりわけ年金2.5%削減の実施は、深刻な不況と生活苦の中にある高齢者の生活を圧迫し、悲惨な結果を招くことが危惧されます。

年金は自治体の高齢住民に直接給付される収入で、特に大都市部を離れた地域では、その削減は地域経済に大きな影響を及ぼすとともに、消費を冷え込ませ、不況を一層深刻にし、国の経済にも負の影響を与えることが懸念されます。

さらに、今準備されているデフレ下のマクロ経済スライドの実施など、限りない年金削減の流れに道を開くものになり、若者を中心に年金離れが一層進み、年金制度への信頼はさらに低下することが懸念されます。

このような事態を踏まえて、高齢者の生活と地域経済を守るためにも、下記事項を要望いたします。

### 記

1. 「年金2.5%削減」を中止すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成25年 6月19日

宮崎県えびの市議会

トピックス  
TOPICS

# 議会報告会のお知らせ

議会に対する皆さんの声をお聞かせください！  
多く市民の皆さまのご参加を  
お願いいたします！

## 【議会報告会の日程表】

月・日	地区	会場
7月23日(火曜日) 午後7時30分～ [2時間程度]	南部地区	上江地区コミュニティセンター (旧上江地区体育館内)
	中部地区	えびの市役所本庁 (本庁1階 1-1会議室)
7月24日(水曜日) 午後7時30分～ [2時間程度]	東部地区	飯野地区コミュニティセンター (旧 飯野地区公民館研修室)
	西部地区	真幸地区体育館 (集会室)

議会では「市民に開かれた議会」「市民参加を推進する議会」を目指しています。  
今年度も3月及び6月定例会等の報告を行い、多くの政策課題について、市民の皆さんと意見交換を行います。

議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議員氏名															審議結果
		1 蔵園	2 松達	3 北園	4 上原	5 池田	6 竹中	7 本石	8 西原(義)	9 西原(政)	10 井川原	11 溝辺	12 高牟禮	13 宮崎	14 外園	15 栗下	
議案第58号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正(第3号)について	/	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号	えびの市長の退職手当の特例に関する条例の制定について	/	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
議案第66号	えびの市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
議案第67号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正(第5号)について	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
議案第68号	平成25年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第2号)について	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
議案第69号	平成25年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第1号)について	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
議案第70号	平成25年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
議案第71号	平成25年度えびの市水道事業会計予算の補正(第3号)について	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
議案第72号	平成25年度えびの市病院事業会計予算の補正(第1号)について	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
請願第9号	年金2.5%の削減中止を求める請願	/	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	採 択

○：議案等に対して賛成    ×：議案等に対して反対    ー：欠席    /：議長は採決に加わりません

議会日誌

〔3月〕

- 16日 市内中学校卒業式(各中学校)
- 22日 議会広報常任委員会
- 23日 尾八重野分校卒業式
- 25日 市内小学校卒業式(各小学校)
- 26日 3月定例会閉会
- 28日 えびの市農業振興大会(文化センター)
- 30日 えびの市交流物産館落成式

〔4月〕

- 3日 議会広報常任委員会
- 4日 春の交通安全運動決起集会(文化センター)
- 7日 平成25年度えびの市消防団入退団式(永山河川敷公園)
- 8日 議会広報常任委員会
- 9日 市内中学校入学式(各中学校)
- 10日 市内小学校入学式(各小学校)
- 11日 議会広報常任委員会  
普通救命講習(本庁)  
全員協議会

〔5月〕

- 10日 議会運営委員会  
臨時会
- 13日 総務教育常任委員会管外研修(15日大阪・滋賀・京都)
- 15日 産業厚生常任委員会管外研修(17日長野・名古屋)
- 26日 えびの京町温泉マラソン大会
- 27日 産業厚生常任委員会管内調査
- 30日 人権社会確立第33回全九州研究集会(宮崎市)

〔6月〕

- 4日 議会運営委員会
- 7日 6月定例会開会
- 19日 6月定例会閉会
- 25日 臨時会



議会だより第97号をお届けしました。実はこの議会だより、その殆どを議員が作っていることをご存知でしょうか。ページレイアウト、原稿作成・校正、写真撮影など印刷以外のすべてを編集委員会(議会広報常任委員会)で作っています。特に市条例に定めが無い編集委員会を24年度からは常任委員会にし、その責任を一層明確にしたことで内容充実と読まれる広報を意

識して改善に努めてきました。市政に議会はどう向き合っているのか、様々な課題がどう議論され、判断したかを議会自らが説明する責任の一端をこの議会だよりが担っています。

ITC技術の活用も必要です。この3月議会から議会のインターネット配信も始めました。より多くの市民の皆さんの市政参加や理解につながることを、その目的です。まだまだ工夫すべき点や改善すべき点が多くあります。今後とも向上心を持って自らの力量に磨きをかけ、よりよい議会だよりにしていきたいと思います。

議会広報常任委員長 池田孝一